



# popo

2013年  
第5号

## 法人理念：「共生と自立」

利用者：生活の中で楽しく健やかに生き、生きる力を育むこと

職員：チームワークを持って仕事に励み、創造性を持って自己啓発すること

地域：地域との絆を保ち、地域との共助、協働を旨とすること

# ポポ

社会福祉法人 蒼生会 広報委員会発行

おかげさまで高齢者施設「ピノ  
(コミュニティホームピノ/定員29名、  
シヨートステイピノ/定員10名、  
コミュニティセンターピノ/定員12名)  
が完成しました。工期が短く、当初は、  
本当にでき上がるのかと不安でした  
が、建築及びその下請業者の努力と情  
熱のおかげで予定を10日程延長しま  
したが竣工することができました。  
建築に携わって頂いた皆様をはじめ



高齢者施設  
ピノ

め、関係行政の皆様及び。ピノの立ち  
上げにお手伝い頂いた多くの方々  
心より感謝いたします。

地域密着型「コミュニティホーム  
ピノ」は、相模原では初めての施設で  
す。相模原市民のための老人ホームと  
して、地域の皆様の意見を積極的に取  
り入れ、運営に反映させるとともに、  
地域福祉向上の要となるホームにな  
れるよう努力

していきたく  
いと考えて  
おりますの  
で今後とも  
よろしくお  
願い致しま  
す。



内覧会



4月8〜9日には市内の施設向け  
内覧会が開催されました。多数の福祉  
事業者の方々に見学頂き、たくさん  
のお祝いと祝詞を頂きました。お忙しい  
中お出でいただきどうもありがとうございます。  
見学された皆様は意外に屋上の眺  
めの良さに驚いていたようです。丹沢  
方面をのぞむ景色に富士山を見るこ  
とはできませんが、丹沢山塊が一望で  
き、天気が良ければ田名や厚木方面の  
花火大会を見ることが出来ます。

また、私たちが新たなケアの在り方を模索して作った足湯と庭園には、多くの方々に興味を示して頂けたようです。認知症を患う利用者が自由に庭園を散策し、四季折々の花木に触れることができるよう考えられた、散策路。小さな空間ではありますが、私たちが15年間学んできた成果が凝縮された空間です。

相模原市では初めての地域密着型特養として、現実には妥協することなく様々な事にチャレンジして行きたいと考えています。また、私ども法人にとつても新たな高齢者施設「ピノ」が法人内に新しい息吹と改革をもたらすであろうことを確信しています。

高齢者福祉の世界は、今後も大きな変化が続くと予想されます。それは、世代と共に養ってきた価値観が少しずつ違っているのですから当然のこととしても、私たちは、一人ひとりの利用者の価値観を大切に守り、居心地の良い「空間」や「場」を利用者とともに考え共創していくことが法人の使命と考えています。

蒼生会の新しい高齢者施設「ピノ」が地域の皆様に愛される施設となりますよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

理事長 大久保 祐次

コミュニティセンター ピノ



平成25年4月に

オープンしました

「コミュニティセンターピノ」です。

モモからは目と鼻

の先と同じ鶴野森

にあります。私た

ちのデイサービスは、一日12名の少

人数で、皆様の声に耳を傾けじっくり

とお話を受け止める事が出来る、憩い

の場を目指しています。

認知症の方を中心としたサービス

でもあり、集団活動が苦手な方や、家

族の方の介護負担の軽減に十分配慮

し、在宅生活をサポートしていきます。

職員は、特養経験のベテランから今

年卒業したやる気満々のフレッシュ

マンと幅広い感性で皆様をお待ちし

ております。専用車両で、南区全域を

送迎範囲とさせて頂いていただいております。広い中庭には四季折々の花々が咲き、ウッドデッキには癒しの「足湯」があります。

外の風を浴びながら、ゆっくりと憩いの時間をお過ごしください。

私たち職員一同の目標は、「また、行きたくなるデイサービスピノ！」を目標してこれからも頑張っていきたいと思います。

では、「コミュニティセンターピノ」でお会いしましょう。

遠藤 淳一

コミュニティホーム ピノ



コミュニティホームピノの特徴は庭園や足湯だけではありません。三階



の東ユニットは、すべて絨毯敷きのユニットが設けられています。海外では当たり前の絨毯敷が日本では実現できないのには様々な事情がありますが、ピノでは、転倒の可能性が高い利用者のためにオール床絨毯を実現しました。また、二階と三階のパブリックスペースには、カラオケルームが設けられています。ユニットの他の入居者さんに迷惑をかけることなく、思う存分好きな歌を歌うことができるスペースです。

その他にも深夜電力を利用した氷蓄熱空調システムや全館LED照明、二重サッシ、天井断熱材の設置等で徹底した省電力と環境に優しい施設づくりに取り組んでいます。

理事長 大久保 祐次

ピノ 職員紹介



ので住み慣れた自宅から泊りに来るとい  
う気持ちで利用して  
いただけたらと思  
います。利用中は施設内  
の活動に留まらず、施  
設の周辺の活動や地  
域の方との交流を持  
ち、利用者がより楽し  
い生活を送れる様に  
職員一同頑張つて行  
きたいと考えており  
ます。

ピノはまだ完成し  
たばかりでやつと歩  
き始めたばかりの施設です。



みなさん、  
こんにちは  
は！

この度、モ  
モから異動して新設の「ピノ」で働か  
せて頂く事になりました小峰慎吾と  
申します。

モモでは特養課に九年間勤務し、新し  
くピノで勤務します。ピノでは一年目  
なので良い意味で初心に戻り、利用者  
がその方らしい生活が送れるように  
頑張りたいと考えております。

私の担当することになりましたシ  
ョートステイユニットは2階の西側  
にあり、「入居」ではなく「利用」な



はじめま  
して。ピノ2  
階のEAS  
Tユニット  
のリーダー

入居者の家族の方や、利用者の家族の  
方地域に住まわれている皆様の力を  
お借りしながら、入居者からは「ピノ  
に住めて良かった」、利用者からは  
「ピノに泊まりに来て良かった。」と  
言つて頂ける様な施設にしたいと考  
えておりますので、どうぞ宜しくお願  
い致します。

小峰 慎吾

を務める事になりました佐藤貴士で  
す。私たちのユニットでは、利用者が  
楽しく笑顔で過ごせるような生活空  
間を作ることを目標にし、職員一同で  
試行錯誤しながら頑張つて行きたい  
と思つております。しかしながら、ピ  
ノは開設してまだ間もない状態で  
色々と至らないところがあります。利  
用者の家族の方や地域周辺の皆様の  
力を必要としておりますので、ぜひ、  
力を貸して頂きたいと思つておりま  
す。

最後に利用者が生きる喜びを感じ  
ることが出来るユニット・施設になる  
よう頑張つていきたいと思います。よろ  
しくお願ひします。

佐藤 貴士



3階の一  
般ユニット  
は、館長たつ  
ての希望で  
共同スペー  
スからお部屋

まですべて絨毯フロアとなつてい  
ます。より家庭的な雰囲気、暖かみ  
のあるユニットです。入居者は、自分  
の時間を自由に過ごされており、ゆっ  
くりとした時間の流れで生活されて  
おります。ユニットという空間を活か  
し、従来型ではなかなか成しえなかつ

た活動や行事等を積極的に実施して  
いけたらと考えています。また、認知  
症ユニットとの連携もあるので、互い  
に交流を深め、分け隔てなく良い関係  
を築けていけたら良いと思つていま  
す。ユニットの特性をいかしながらも  
新しい事も挑戦していけたらと思  
います。

角田 麻由



認知症  
ユニット  
は、聞いて  
の通り認  
知症対応

型のユニットです。

私自身、認知症について研修などで  
学んだことはありますが、実際に認知  
症ユニットの施設を見ていません。わ  
からないことだらけです。入居してく  
る方にはできる限りのことを行つて  
いきたいと思ひます。また、「認知症  
だから」という考えもなくし、ケアを  
行いたいと思ひます。会話についても、  
入居者の訴えがあれば話しを聞いて  
説得するよりも、納得して頂くように  
対応し、「楽しく・明るい」空間が出  
来るように努めていきたいと思ひま  
す。

持丸 聖弥

保育園ピノ 増床について

平成23年10月28日に厚生労働省より、乳児室又はほふく室の面積基準について①ほふくをしない子ども<sup>1.65</sup>㎡以上/人、②ほふくをする子ども<sup>3.3</sup>㎡/人という通知が出されたこと  
 によって、相模原市から、保育所の定員の調整をするか保育所の部屋割りを調整して対応するようにと指導がありました。保育園ピノでは、人数調整をすると乳児4名を減員しなければならなくなりました。待機児童が多い中、定員を減らすことはできません。保育園ピノが借りているビルの1階に空室があつたことも重なり、増床をして園児数を増やすことに決めました。理事会で増床・増員の承認、市からの許可を得て、11月下旬に工事を

	1月以降
かりん1	0歳児
かりん2	1歳児
しいの実	2歳児・3歳前半児
くわの実	3歳後半児・4歳児
まつの実	5歳児



開始、12月28日に晴れて竣工の日を迎えました。今までの70名定員を80名に変更し、組編成も上記のように分けることによって、今まで以上にお預かりしている子どもさん達の個々の成長を見ながら個別対応が出来るようにしました。組ごとの保育だけでなく、同年齢の保育も年齢毎にリーダーを置き、充実させていきます。

1階の増床部分は、寒さのことを考えて床をコルクにしました。また保育室のまつの実と遊戯室の2部屋を作り、壁で仕切るのではなく引き戸にして2部屋を同時に使うことも可能にしました。今年度からは遊戯室を使用して子育て広場を開いています。まつの実組は5歳児の年長の子ども達の組なので、今までの異年齢の組とはまた違う玩具も増えています。4月に新入園児16名を迎え少しずつ子ども達



も保育園の生活に慣れてきたところ  
 です。

今回の増床により、雨の日にはまつの実組に年齢の低い友達遊びに行つて過ごしたりするなど子ども達の生活に幅が広がりました。また保護者の時間を子ども達の午睡時間に移し、保護者会に組のリーダーのみではなく、担任全員が参加出来るようになりました。保育時間が長い保育園では、担任全員と保護者の方々揃って合うという機会を持つことは中々難しいのですが、保護者会の時間をずらすことによつて、保護者の方々も担任が共有する時間が出来るようになり、そこで得た意見を今後の保育内容に生かしていきたいと思ひます。



開園してまだまだ落ち着いていない時期の増床・増員という決断をし、保護者の方々にご心配をおかけしましたが、みなさんの協力の元、実現できたことをこの紙面をお借りして心からお礼を申し上げます。今回の増床・増員をしたことによつて、得られたメリットを最大限に生かし、次年度からの保育をもっと充実させ、古淵という地に根付いた保育園になるように努力していきたいと思ひます。

保育園ピノ

園長 東 由美

保育園モモ 同窓会

保育園モモでは毎年秋になると同窓会を開いています。卒園した小学校6年生までの全園児に案内を送付し、毎年、多くの卒園児が参加します。

1年生は、送り出した担任と1年生だけでたつぷりと時間をすごします。小学2年生から6年生までの子ども達は、2クラスに分かれ、クラスごとに、一人ひとりの子ども達の誕生日に担任が焼いた懐かしいケーキを食べながら、近況報告をします。保育園時代を思い出しながら、クラフト活動をし、その後ホールに集まり、昔の写真



や作年度の同窓会のスライドショーを見ます。「かわいい〜」「なつかしい・・・」の声、成長した友達とスライドの写真を見比べ、微笑み合う姿とても楽しい時間です。

職員の入替わりがある中で、受け持った担任がいない学年もあります。職員一同、モモを巣立った大切な子どもたちのためにと思いを一つにして準備をし、当日を迎えます。

その一つにコンサートがあります。保育園時代に歌った唄を職員が、リコーダー、キンダーハープ、ライアーで演奏し、皆で唄います。昨年、歌詞カー

ドを用意したところ、照れながらもみな大きな声で唄ってくれました。コンサート開始まで、ざわざわしていた子ども達は、ライアーやリコーダーの静かな音が、ホールに響き始めると、あつという間に静かになり、子ども達は耳を澄ましました。小さな頃から、子ども達と聴くという「体験」を大切に育ててきた私たち職員は、子ども達の聴く耳の顕在さに驚かされました。

コンサートが終わり、帰る時には口ぐちに「また来年ね」「元気でね」と、互いに声を掛け合いながら、お別れです。



近所に住んでいて、時々会える卒園生も多くいますが、遠くに引越してしまい、年に一回しか会えない卒園生もいます。みんなが、一緒に過ごした保育園モモは、距離や時間を超えて、私たちを一つにしてくれる場所です。現在、保育園モモに来てくれる子ども達とも素敵な時間をすごし子ども達の大切な思い出になるよう園生活を送っていききたいと思います。

保育園モモ

園長 神尾 美香子

世代間交流会



期待に胸を膨らませ、ケアハウスの方達の到着を待つ子ども達。  
「まだかなあ〜」（そわそわ）

保育園が開設して3年目になり、初めてケアハウスの方達を招待して、ピノで交流会を行なう事ができました。家族の形が変わり、年配の方と接する機会は減っています。でも、子ども達は年配の方達のが大好きです。初めて会った年配の方とも、不思議とすぐに仲良くなってしまう。子ども達が差し伸べた小さな手を、ケアハウスの方々が優しく握り返し、みんなが優しい笑顔になっていきます。互い



を受け入れ、心を通わせる事が自然とできてしまうので

この日、子ども達は最後まで交流会を楽しんでいました。唄のプレゼントをして、駐車場までケアハウスの方達を見送りに行きました。

ピノからケアハウスまでは、歩くところ40分程かかります。年に何回も訪問する事は難しいですが、これからも子ども達が世代間を越えた人々とふれ合う機会を大切にしていきたい。そんな思いで、この活動を続けて行きたいと思えます。

保育園ピノ 佐々木 朋子

ケアハウスお花見ドライブ



葉桜になっていたものの、恩田川の近辺にある城山公園には、淡いピンク色の八重桜が咲いていました。当初は、予定していなかった公園に立ち寄り、花壇や桜を見て散策し、桜の木の前で集合写真を撮りました。入居者から、「こんな良いところがあったのか。今日は、桜を見ることができるとは思わなかった。お花見に来て良かった。」との声を聞く事ができました。

帰宅後は、昼食にお花見膳と和菓子のデザートドライブに参加できなかった方も一緒に楽しみました。

今回は、奇跡的に綺麗な桜を眺めることができました。来年は、もっと喜んで頂けるようにしたいです。

ケアハウスモモ

大谷 真美



今年春は早く、3月の初旬には桜が開花したため奇麗な桜が各所で早くから眺められました。ケアハウスでは、4月8日に桜の名所である成瀬の町を流れている恩田川の桜並木を見に、お花見ドライブに行きました。既に3月下旬には桜が満開になり、ドライブまで持ってくれるかと心配でした。入居者も、「この調子だと葉桜かしら…」と残念そうな様子でした。当日は、雲ひとつない快晴となりドライブ日和でした。恩田川の桜並木は



特養 療法活動について



特養ではいくつかの療法活動を行っています。

今回は【学習療法】についてお話しさせて頂きたいと思えます。学習療法と聞いて、皆さんは学習療法って何？と感じる方が多いかもしれません。テレビCMで《くもん行くもん♪》という歌のようなフレーズ、聞いた事はなんでしょうか？もしくは若い世代の方であれば、くもんに通っていたという人もいるかもしれません。モモでは、そのくもんの教材を使って高齢者向けの頭の体操をしています。

内容は大きく分けて読み書き教材・計算教材・数字盤（コマ並べ）の3つです。いろいろな内容の教材があるため、全ては紹介できませんが、読

み書き教材では昔懐かしい童謡・唱歌の歌詞を音読したり、昔の道具や昭和の出来事について書かれた文章を音読したりと、人によって取り組む教材は異なりますが、昔を思い出しながら楽しく取り組んで頂く事を目的に取り組んでいます。取り組み中に歌を歌われる方、職員に懐かしそうに昔の話をして下さる方も多くいらっしゃいます。計算教材では数を数えたり、簡単な足し算や引き算、掛け算を解いたりします。簡単すぎても難し過ぎてても脳には逆効果になってしまうため、1人1人に合った教材を提供していただきます。最後に皆さんが楽しんで取り組まれる数字盤。盤上に書かれている数字と、コマに書かれている同じ数字を声に出しながら置いていく作業です。1〜30・1〜50・1〜100コマの3つのコマ数があり、声を出しながらご本人の負担のない範囲を取り組んで頂きます。眼球や手先の運動になり、皆さんからも好評です！集中力が高まり、皆さん黙々と取り組まれています。この3つを職員とコミュニケーションを図りながら取り組む事で認知症予防や進行予防、改善に向けて取り組んでいます。学習療法も筋力トレーニングなどと同様、1日で効果が出るものではなく、生活の一部として毎日15

〜20分程度の時間で、継続して学習することが大切になってきます。普段は特養3階DTスペースにて取り組んでいますので、興味がある方は是非、大類までお問い合わせ下さい。

大類 雅裕

新しいカラオケがきた！



今年から新しいカラオケが、デイサービスモモに入りました。カラオケの曲数は4万曲、画面も大きくきれいで、歌詞も読みやすく、なにもかもよく出てくるので驚きでした。

また、このカラオケの中には、歌体操やゲーム、各地域の時代の映像など盛りだくさんであり、まるでドラえもん箱のようです。ために去年の忘

年会で利用してみましたが、利用者に大人気。視力が悪い方も大きい文字なのでよく見えるし、またリクエストする殆どの曲が内蔵されているので、一大カラオケ大会になり、マイクをずっと離さない利用者も現れました。テンポやキーも換えられるので、とても便利です。

現在、カラオケは食後にフロアで利用者に見ていただいています。食事が終わると、利用者は嬉しそうにすぐフロアに戻っていきます。一人、二人と観客は増え、10人以上になっていることもあり、午後のプログラムでも、ずっとカラオケの前から離れない利用者もいます。普段、物静かな利用者が懐かしそうに歌をくちずさんでいる姿を見ると、このカラオケを導入して本当によかったと思えます。

カラオケが導入されたことで、利用者の精神的な活性化、歌を通した回想療法など今後いろいろな場面でも使えそうです。宝の持ち腐れにならないよう、利用者に楽しんでもらえるよう、どんどん活用していきたいです。

デイサービスモモ

松田 道子

今回は保険についてつばやきです...

介護保険は公的制度の保険と、民間の生命保険会社の介護保険があります。名称は保険会社により異なりますが、公的介護保険を補う重要な保険として位置づけられています。

「平成24年度 生命保険に関する全国実態調査」によれば、生命保険会社が「介護保険」あるいは「介護特約保険」の加入率は14.2%と発表しています。年金保険、医療保険などと比較するとまだまだ加入率は低い水準です。理由は、介護を受ける実感がないこと等ですが、要介護状態後の期間は10～15年に及ぶケースが最も多く、初期費用を除いても月額10～15万円の費用とされています。公的介護保険により介護サービスにかかる費用の1割負担で済むものの、介護が必要になる高齢者や支える子ども世代の負担が大きい事には間違いありません。仮に公的介護保険の受給資格が認められても施設に空きがなく入所出来ず、十分なサービスが受けられないこともありえます。そうなると、1割負担ですむ公的サービスではなく、民間のサービスを利用せざるを得ない状況も起きています。また、65歳に満たないで要介護状態になったとき（政令に定められた疾病除く）は公的介護保険の適用外となり、民間の介護保険なら対応可能となります。民間の介護保険には所得税（住民税は平成25年から）の控除が認められています。医療保険や介護保険などを対象とした「介護医療保険料控除」が新設されました。

賢い介護保険の利用を考えてみてはいかがでしょうか。

つばやきケアマネでした。

デイサービス利用者作品



「咲いた♪咲いた♪たんぽぽ咲いた♪」



「みんなで折り紙で作りました♪ モモの花見ですね♪」

社会福祉法人蒼生会

〒252-0301 相模原市南区鶴野森1丁目22番17号

- 特別養護老人ホーム モモ TEL 042-767-8030 ●居宅サービスセンター モモ TEL 042-767-8278
- ショートステイ モモ TEL 042-767-8030 ●デイサービスセンター モモ TEL 042-767-8280
- ケアハウス モモ TEL 042-767-8281 FAX 042-767-8032 (共通)

〒252-0301 相模原市南区鶴野森1丁目15番12号

- コミュニティホーム ピノ ●ショートステイ ピノ ●コミュニティセンター ピノ
- TEL 042-745-1701 FAX 042-745-2745

〒252-0301 相模原市南区鶴野森1丁目21番4号

- 保育園 モモ TEL 042-767-8470 FAX 042-767-8475

〒252-0344 相模原市南区古淵1丁目8番1号

- 保育園 ピノ TEL 042-750-0065 FAX 042-750-0068